

大阪・関西万博開催時の円滑な交通の実現に向けて

開幕までほぼ1年となり、前売券の販売やパビリオンの建設などさまざまな準備が本格化している、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)。会場となる夢洲はアクセスルートが限られた人工島であることもあり、来場者の安全かつ円滑な移動と、通勤・通学や物流などの一般交通の両立をはかる、万博開催時の円滑な交通の実現についても具体的な検討が進められている。今号では、万博来場者の輸送計画および企業・住民に対する協力の呼びかけなどについて紹介する。

来場者輸送の具体方針

2025年日本国際博覧会協会(以下、博覧会協会)では、万博来場者の安全かつ円滑な移動を実現すべく、関係する行政機関および団体などをメンバーとする「来場者輸送対策協議会」を設置し、来場者の輸送方針として「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)」を策定している。2023年11月にはアクションプランの第3版が公表された。

■ 主なアクセス方法

アクションプランで想定されている夢洲への主なアクセス方法は、以下のとおりとなっている。

- ① Osaka Metro 中央線(鉄道)
- ② JR桜島線(鉄道+桜島駅からのシャトルバス)
- ③ 淀川左岸線(2期)(新大阪駅、大阪駅、中之島駅発の駅シャトルバス)
- ④ 上記以外の主要鉄道ターミナル(難波、上本町、天王寺、堺、堺東、尼崎)からの駅シャトルバス
- ⑤ 関西国際空港・伊丹空港ターミナルからの直行バス、近畿地方各府県からの中距離直行バス・全国各地域からの長距離直行バス
- ⑥ 自家用車利用(尼崎、堺、舞洲の駐車場にてパーク&ライドのシャトルバスに乗換)

■ 会場の混雑予測とその対策

大阪・関西万博の会期は、2025年4月13日～10月13日の184日間となっており、修学旅行シーズンである6月や、会期中盤の駆け込みが見込まれる8月中旬以降は、特に混雑すると予測されている。加えて2005年日本国際博覧会(愛・地球博)開催時の実績から、会期終盤となる10月の約2週間も大きな混雑が想定される。

視点を1日の時間帯別の来場者予測に移すと、9時台をピークに、午前中に入場者の約7割が来場し、

退場については、約7割が18時以降に退場、ピークは21時台と予測されている。混雑緩和に向けた対策としては、入場チケットの券種設定、イベントの実施時間の調整、早期退場の呼びかけなどが行われる。

鉄道・道路交通容量の拡大も検討されており、鉄道の増便(1時間当たりの運行数 Osaka Metro中央線:16本→24本、JR桜島線:9本→12本)や、夢洲のコンテナターミナル搬出入車両の交通量抑制などが予定されている。

■ 想定される影響

こうした対策を講じてもなお、Osaka Metro中央線では、午前中のピーク時において混雑率が140%に達し、乗客の安全な移動や車両の定時運行に支障をきたす懸念がある。また、道路に関しても、舞洲への入口付近(湾岸舞洲出口)に車両が集中し、万博会場にアクセスするバスおよびコンテナターミナルを利用する物流車両等への影響が懸念されている。

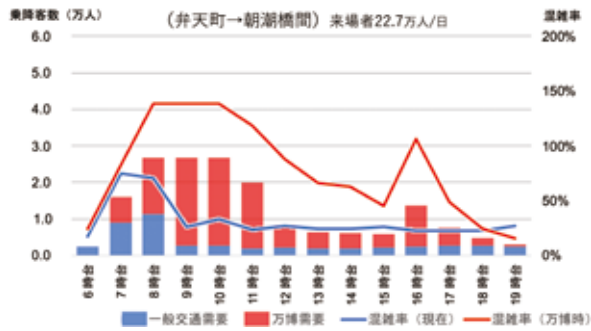
〈主な来場者想定ルート〉



出所:「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版」

〈Osaka Metro中央線の混雑予測〉

鉄道



〈湾岸舞洲出口(天保山方面から)の混雑予測〉

道路



万博来場者の輸送と 一般交通の両立に向けて

これらの交通混雑は、通勤・通学や物流などの一般交通、ひいては大阪・関西圏の社会経済活動の停滞といった弊害を引き起こす可能性もあり、影響を最小限に抑えることが求められる。それには混雑緩和に向け適切な対策を講じること、対策の効果を最大限に引き出すことが不可欠である。そこで重要になるのが、企業や住民の協力である。

大阪府・市万博推進局、博覧会協会、経済界などは、万博来場者の輸送とそれ以外の一般交通の両立をめざし「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議(以下、円滑化推進会議)」(会長:大阪府知事)を設置し、

バランスの取れた輸送計画の実現のために、企業、住民へのTDM(Transportation Demand Management: 交通需要マネジメント*)への協力を呼びかけている。

2023年12月に開催された第2回会議では、企業・団体に対する働きかけの例示のほか、万博来場者輸送と都市活動の両立に向け、一般交通の抑制や分散、平準化に協力してくれる企業を増やすことを目的とする「万博TDMパートナー登録制度」の創設などを公表した。

*交通行動の変更を促し、発生交通量の抑制や平準化など「交通需要の調整」を行うことで、混雑を緩和する取り組み。

■企業・団体に協力をお願いすること

会議で策定したリーフレットでは、企業・団体への働きかけとして次のような例を示している。

①移動量・配送量の削減

テレワーク、在宅勤務、オンライン会議の推進、共同配送、イベント開催場所・時期の変更 等

②オフピーク時期・時間帯への変更

時差出勤、フレックスタイム、商談・打合せ時間の調整、納品時期・時間の変更、配送時間の変更 等

③混雑を避けた場所・ルートへの変更

通勤経路の変更(混雑区間を迂回)、配送経路の変更、影響の低いエリアにある倉庫の活用 等

これを受け、当会も会員への呼びかけを行っていく。会員の皆さまには上記の例も参考に、取り組みへの協力をお願いしたい。

なお、円滑化推進会議では、今後、周辺府県の住民に対しても協力を呼びかける予定である。

当会は、博覧会協会、地元自治体をはじめとする関係機関とともに、万博開催時の円滑な交通の実現に向け、引き続き取り組みを推進していく。

(地域連携部 松岡憲弘)

「万博TDMパートナー」にご登録ください!

円滑化推進会議では、TDMへの協力企業拡大に向け、大阪・関西万博会期中の自社の取り組みについて、専用ホームページに登録いただく「万博TDMパートナー」の登録企業・団体を募集しています。登録いただいた企業・団体には登録証を発行し、会期中の混雑情報、他の企業の取り組みなどの参考情報をメールマガジン形式で配信します。ぜひご登録ください。

登録要件: 万博会期中の交通混雑緩和の取り組みに賛同いただける企業・団体等

※事業所・部署単位での登録も可能です。要件の詳細は専用ホームページをご確認ください。

登録方法: 登録受付期間内に専用ホームページからご登録ください。

<https://www.city.osaka.lg.jp/banpakusuishin/page/0000618137.html>

募集期間: 2024年2月20日~2025年10月13日

〈お問い合わせ〉大阪府・大阪市 万博推進局整備調整部 TEL: 06-6690-7731
 関経連 地域連携部 TEL: 06-6441-0107

